

エコパッケージジトレンド

第8回レポート：EMEA

EU、新包装法でリサイクル材含有量目標を義務化、食品業界におけるプラ削減への動き

欧州委員会は、市場に投入される**新しい包装に最低量の再生プラスチックを使用することを生産者に義務付ける**ことで、包装の環境負荷を軽減を目指すことを発表した。

業界団体のプラスチック・ヨーロッパによると、2019年にパッケージングに使用されたプラスチックのうち、リサイクルされたものはわずか5%であった。また、リサイクル業者は、より安価で高品質な未使用材料が主流の市場で、二次材料を販売するという困難な戦いに直面している。

これに取り組むため、ペットボトルからすべてのプラスチック包装までリサイクル含有量目標を拡大することで、リサイクルプラスチックの需要を高めることが期待されている。

2030年の目標は暫定的なもので、提案が公表される前に変更される可能性があるが、2040年までに再び増加することになる。

- 食品包装のような接触に敏感なプラスチック包装は25%（2040年時点で50%）
- 飲料用ペットボトルは50%（2040年時点で65%）
- その他のプラスチック包装材は45%（2040年時点で65%）

飲料業界

EUのプラスチックメーカーはすでに、2030年までにEUのリサイクル率目標を30%にすることを義務づけている。

飲料用カートン容器は、パッケージの内側にアルミニウムとプラスチックの層が使用されることがあり、内容物を湿気や空気から確実に保護し、飲み物、スープ、ソースの賞味期限を長くするために採用されているが、これはリサイクル業者にとって課題である。

繊維からプラスチックを分離する技術は存在し、業界はこれに対処していると言及しているが、まだ大規模に展開されていない。潜在的な解決策は、プラスチックと紙のさまざまな層をより簡単に分離し、リサイクル性を向上させるために、パッケージデザインを適応させることである。

欧州のリテールで続々導入されるエコパッケージ化

消費者は、使い捨て文化が環境に与える悪影響をますます認識していることから、ヨーロッパのメーカーやブランドだけでなく、大手スーパーをはじめとする小売企業でもこの問題を真剣に捉え、消費者の持続可能な消費行動を促す取り組みを行っている。



黒いプラスチックを段階的に廃止

スペインのスーパーマーケットチェーンのMercadonaは、リサイクルしやすいパッケージで2つのプライベートブランドの食品を再発売した。

小売業者は、Hacendado Tortillas de Patata と Hacendado Patatas Bravas の製品が入っていた黒いプラスチック製の容器を、透明なプラスチック製のものに交換した。変更の理由は、リサイクルセンターの選別機が黒いプラスチックを検出できないことが多く、埋め立てにつながるため。(2022年9月)



子供の創造性と持続可能性をつなげるホワイトパッケージプロジェクト



スロベニアの小売業者Mercatorは、子供たちに人気のある製品の一部の商品をリニューアルして、シンプルで持続可能なパッケージを採用。

ホワイトパッケージプロジェクトと呼ばれるこの取り組みは、サプライヤーであるAtlantic Grupa、Medex、Fructal、Bambiとの共同実施であり、Argeta pate、Propolis Oral、Gelee Royal Junior（栄養補助食品）、Pingo（フルーツドリンク）、Plazma（ビスケット）など、子供向けの人気製品の特別版が白いパッケージで店頭に並んでいる。

このイニシアチブの目的は、事業協力による価値の創造に加えて、子供たちの創造性の奨励

多くの親は、幼い頃からリサイクルや持続可能性、責任ある消費行動の重要性を子供たちに学ばせたいと考えており、ブランドは、消費者に不要なパッケージの再利用や削減、リサイクルを促すことで、環境に対する信頼性を高めることができる。

白いパッケージは、子どもたちに新しいものを生み出すことを促すと同時に、パッケージをすぐに捨てなくてもいいという事実を考えるきっかけになる。同時に親たちの関心を引き、子どもたちに遊び心を持ってパッケージに触れてもらうための斬新な方法である。

バイオプラスチックの活用

日本バイオプラスチック協会（JBPA）では、バイオマスプラスチックを「原料として再生可能な有機資源由来の物質を含み、化学的又は生物学的に合成することにより得られる高分子材料」と定義されている。紙素材では代替できない、耐水性や強度を求められる場合に有効な素材として欧州を含み世界でも注目されているが、リサイクルやコストの面から、普及には時間がかかっている。

EAME：消費財カテゴリー
「バイオプラスチック」「植物由来プラスチック」を訴求する
新製品の割合
(2020年1月～2022年12月)

2020年1月 - 2020年12月	2021年1月 - 2021年12月	2022年1月 - 2022年12月
0.11%	0.14%	0.12%



Eroski Rice Drink
(2022年9月、スペイン)

UHTのライスドリンク。
再生可能な原材料（87%）と100%バイオプラスチック製のキャップで作られた、環境に優しいパック。標準的なパッケージと比較して二酸化炭素排出量を21%削減。



Ocean
Sea Breeze Blue Sky Fabric Softener
(Aug 2022、スウェーデン)

環境に配慮した商品開発を常に意識して取り組んでいるこの製品は、砂糖バイオプラスチック製。最大56回分の洗濯が行え、投与量の指示とKlimatneutralt Företag (Climate Neutral Company) のロゴが記載されている。

植物成分由来のBPCパッケージ

美容ブランドは、環境に優しいパッケージストーリーを構築するためのルートとして、パッケージ素材のソースを活用できる



Palmolive Up!
Shower Gel with Upcycled Lemon Peels & Peach Blossom Scent (2022年、イギリス、ベルギー他)

このシャワージェル製品は、皮膚科学的にテスト済み。マイクロプラスチックを使用しておらず、責任ある調達と動物の福祉に取り組んでいる。
パッケージはサトウキビを原料とし、CO2排出量を19%削減し、リサイクルが可能。
使用者に節水を促すメッセージを記載。



Spectacle Skincare
Performance Crème
(2022年4月、イギリス)

EU圏内の認証林にあるスプルース（ヨーロッパトウヒ）を加工したチューブは、ドイツの大工が副産物として生み出すおがくずから作られたもの。従来のPEチューブに比べて二酸化炭素排出量が40%改善されている。

外側の紙箱は持続可能な方法で調達されたヨーロッパ産の麻繊維を50%、消費者から回収された廃棄物を50%使用。



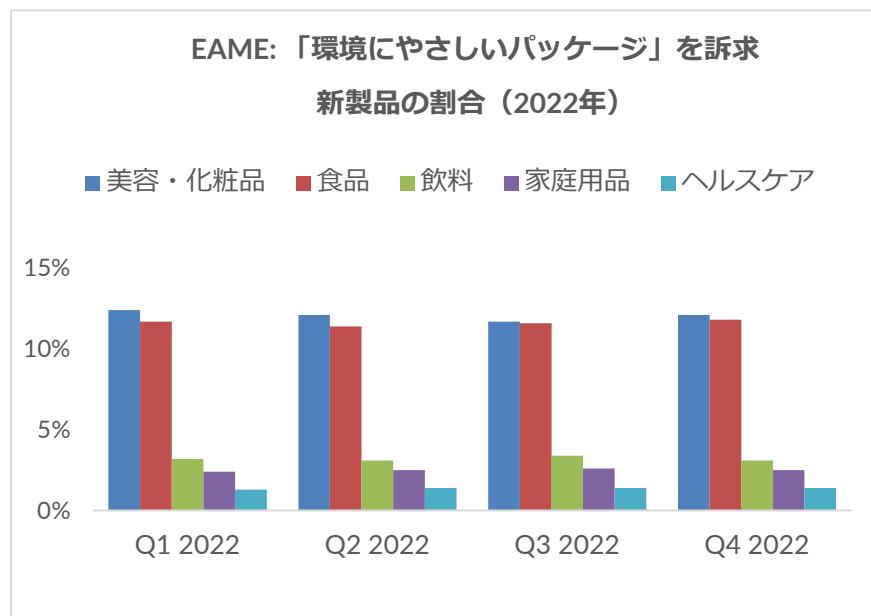
Einhorn
Slip Flip Sliepeinlagen (SlipFlip Pantyliners)
(2022年6月、ドイツ)

100%再生紙を使用した新しいデザインのパンティライナー。皮膚科学的にテストされたパッドは、上部素材と芯が100%オーガニックコットンと30%でんぷん由来のバイオプラスチックで構成されており、自然な通気性と吸収性があることを訴求している。

廃棄量削減に向けたパッケージ

2022年にEAME地域で発売された新製品の3割が「環境にやさしいパッケージ」を訴求している。カテゴリ別では「美容・化粧品」と「食品」がほぼ同等であった。ブランドはエコなパッケージを作って納得するのではなく、購入者に自社の環境への取り組みの認知と、エコへの意識と行動を高めてもらうためのメッセージが求められていく。

EAME：全カテゴリー 「エコサステナ訴求」新製品の割合	2022年
環境にやさしいパッケージ	30.8%
リサイクル	24.2%
環境にやさしい製品	17.9%
生物分解性	2.7%
カーボンニュートラル	1.6%



GNPD



Endori Veggie Kebab Koriander Paprika
(June 2022、ドイツ)

エンドウ豆を使用したヴィーガン対応のケバブのパッケージは、100%再生紙を使用し、100%リサイクル可能。
従来のパッケージと比較して、3分の2以上のプラスチックを節約。
紙とプラスチックは完全に分離が可能。

アイキャッチーなデザインの新しい紙素材パッケージ



The Eco Gang
Biodegradable Bamboo Plasters
(2022年12月、ポーランド)

子どもから大人まで、敏感肌の方にも使えるスウェーデンブランドの絆創膏。柔軟で強い竹繊維（50%）と木材パルプ（50%）で作られた生分解性のプラスチックフリー製品。



Kneipp
Gekleurde Lippenverzorging Rose (Lipcare)
(2022年11月、オランダ)

自然からインスパイアされた色付きリップバーム製品。天然素材から作られた革新的な紙素材「ペーパーブレンド」は、グラスペーパー、リサイクルコルクで構成されたサステナブルなパッケージ。キャップもペーパーブレンドで構成されている。紙製の外装パッケージはFSC認証紙で、唇の写真が印刷されている。

全てGNPD画像